

税金のありがたみ

我孫子市立我孫子中学校 第三学年 吉田 陽音

みなさんは税金についてどのくらいのことを知っていますか。僕はこの作文を書くまではあまり多くのことを知らず、これまで一切知ろうともしませんでした。では、どうしてこの作文を書くかと思ったのかといいますときっかけは社会の授業での先生の話でした。その先生は僕達に「税金というのは今ではみんなの生活に欠かせないくらいに大切なものになっているんだよ。」と教えてくれました。その言葉に関して、税金はこちら側から払っている金額に見合った使い方がされているのか気になったことです。では、これから税について調べた内容とその決論を説明していきます。

最初に僕は一人あたりの納税額を調べました。消費税、所得税、住民税など税には様々な種類があるのでけっこうな金額になると予想しましたが、予想通り多くて、だいたい五十万円から七十万円になるそうです。この金額は中古車や小さい車を買ってしまうほどの金額です。次に調べたことは税金の使われ方についてです。調べてみた限りではこの作文に収まりきれないほどの使われ方があったのでその中から主要なものを二つほど書いていきます。一つ目は、社会保障関係費です。社会保障関係費というのは主に年金や医療給付金が含まれていて、生活をより良くするために使われています。この中には救急車が無料になるなどの命が使われるためにも使われていて、どれほど必要なものなのか分かります。二つ目は、国債費です。国債費というのは分かりやすく言うと、日本の借金を返済するために使われているお金です。この借金というのは日本人の高齢化に伴う景気の低迷や税収の減少などの原因によってできてしまったものですので、税金を利用して返済するのは妥当なことだと思います。

これらの調べたことのまとめとして国民が払っている税金の額は個人差があつて、多額な金額を支払う必要がある人もいるけどその分国民である私達が安全・安心に生活できるように使われていて、税金が無くなってしまうと税の支払いという負担は無くなるが、安心して生活していくことが難しくなってしまうです。よくテレビを見ている時に税の負担が大きすぎると言っている人が多く見られますがその使い道には間違いが一つもありません。税を支払うということがこの日本を背負って生きていくことであり、自分以外の人達を助けることにもつながるといふことを日頃から考えて生きていきたいと思えます。また、これからは僕達が税金を払う時代になりますが国の発展や貢献に尽力していきたいです。